

新秋芳総合支所庁舎等複合施設に関する 市民ワークショップ便り

No.3

2022.3.28

第3回市民ワークショップを開催しました

※ワークショップとは、グループに分かれて意見やアイデアを出し合い、考えをまとめていく話し合いの手法のことです。

新秋芳総合支所庁舎等複合施設の整備については、昨年1月に基本設計を策定し、建物の基本的な構成や配置などをお示したところです。

このたびのワークショップは、基本設計をもとに、具体的な利用方法や、それに伴ってどのような機能や設備が必要となるかを住民の皆さんと一緒に考えていくことを目的としています。

2月24日に開催した第3回目のワークショップでは、厳しい寒さの中、9名の皆さんにご参加いただきました。まず2グループに分かれて、前回話し合った「和室」と「サロン」についての振り返りを行ったあと、「ふれあいロビー」と「市民ロビー」の使用方法や必要となる機能・備品等について話し合いました。地域にとってより良い施設となるようにと、皆さんの熱意が伝わってくるワークショップとなりました。

なお、見直しのご要望をいただいていた図書館の受付の配置については、昨年11月に策定された「美祢市立図書館基本構想」の内容をふまえながら、建物の実施設計において、図書館スペース内にカウンターを設置する方向で見直すことといたしました。

次回のワークショップは4月以降を予定しております。初めての参加も大歓迎です。たくさんの皆さんのご参加をお待ちしています。

◆第3回(2月24日)のようす



市の担当者から、ワークショップの目的や今回の内容について説明しました

ロビーの使い方や必要な備品等について、ふせんに意見を書きながら話し合いました



最後にリーダーが話し合いの内容を発表しました

◆グループワークで出てきた意見

和室・サロンについての追加意見

- ・和室は床より35cm 高くなっているなので、車椅子の方も利用できるようにスロープが必要。スペース的に常設が難しければ、可動式のものでもよい。
- ・和室は、多目的ホールのステージも兼ねているので、ステージとしても使いやすいようにしてほしい。例えば、畳を裏返して板張りとして使用できるなど。

ふれあいロビーについて

- ・バスを待つ中学生が施設の中に入りやすいような工夫があるとよい。椅子の配置は向き合うような配置だと居心地が悪いかも知れないので、外側に向けたり、背中同士がくっつくような配置にしたりするとよい。
- ・あるとよい物：観葉植物、テレビ、パソコン、公衆電話(小中学生は携帯電話を持っていない。)スマホなどを充電できるコンセント、手洗い場、子どもの遊べるスペース
- ・外から直接ふれあいロビーへ自動ドアで入れるほうが、玄関を通るよりも入りやすい。
- ・テーブルは丸形のほうがよい。
- ・図書館との仕切りはないほうが良い。反対の意見として、本の紛失のことを考えると仕切りがあったほうがよい。

市民ロビー(総合支所の待合)について

- ・スクリーンで秋吉台などの観光案内を流すとよい。・小中学校のPR コーナーがあるとよい。
- ・掲示板で施設の使用状況が確認できるとよい。
- ・書類の記載台は車椅子の方にも使いやすい高さのテーブルがあるとよい。
- ・現在のように一人ずつ窓口で申請書等を記入する方法も、親切でよい。
- ・あるとよい物：インターネットができるタブレット、血圧計、座り心地のよいソファ、他市町の広報紙

その他

- ・トイレには、急に具合が悪くなった時のための救急ボタンを取り付けてほしい。
- ・壁を利用して、写真や絵等を展示できるスペースがあるとよい。

次回のワークショップは日程が決まり次第、改めてお知らせします。

【問合せ先】

美祢市秋芳総合支所 総合窓口班
〒754-0601 美祢市秋芳町秋吉 5335-1
TEL 0837-62-1910
FAX 0837-62-1828
Mail s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp